ゼロトラストだけでは守れない：企業システムのサイバーアーキテクチャの考え方と具体的対策【オンラインライブ】（4126207）

NIST SP800-207ゼロトラストアーキテクチャ（ZTA）が提唱され、ようやく変化の兆しを見せていたセキュリティアーキテクチャでしたが、企業の対応は停滞しています。さらに熟練の攻撃者によるマルウェア被害などが頻発しています。本セミナーではZTAを基盤として、企業における本質的なセキュリティ対策について学習します。

開催日時	2026年8月18日(火) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	セキュリティ(サイバーセキュリティ)
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：留意点
講師	山下克司 氏 （山下技術開発事務所 ） 2020年までIBMでクラウドシステムの基盤設計を担当し、企業システムにおけるデジタルトランスフォーメーションを企画。 2007年には優れた技術功績によってIBM本社からディスティングイッシュト・エンジニアの称号を与えられ技術理事に就任、IBMクラウドの最高技術責任者などを歴任。 現在は独立し、サービス・プラットフォームにおけるサービス品質の継続的な改善のためのエンタープライズDevOpsやサイト品質のためのエンジニアリングなどの技術領域でイノベーションに関わる技術支援、講演や寄稿などを行っている。
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	情報システム部門のネットワーク及びセキュリティのご担当者 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	※講義には高度で専門的な内容が含まれており、数学的な議論も展開します。 　わかりやすい解説に努めますが、ご受講には該当分野での実務経験や相当する専門教育が必要です。 ※環境の変化に応じて講義内容を変更することがあります。
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
特になし

＜内容＞
（１）サイバーセキュリティの状況と分析
・軍事的脅威
・ランサムウェア被害
・ソフトウェアサプライチェーン攻撃

（２）企業におけるサイバーアーキテクチャ
・ゼロトラストの基本要件

・エンドポイント管理
・ネットワークセキュリティ
・エンタープライズデータセンター
・アプリケーションセキュリティ

（３）認証・認可基盤
・認証・認可と統合IDの基礎
・ゼロトラストの認証・認可基盤
・認証基盤とEDRの連携

（４）ガバナンス要件
・セキュリティ教育
・金融セキュリティガイドライン
・リスク管理フレームワークの実装

本セミナーでは元IBMディスティングイッシュトエンジニアであった講師(山下技術開発事務所代表）がサイバーセキュリティの現状を分析し、
ゼロトラストアーキテクチャを基盤とした企業セキュリティを実現するサイバーアーキテクチャの考え方と具体的な対策について講義します。

※講義には高度で専門的な内容が含まれており、数学的な議論も展開します。
　わかりやすい解説に努めますが、ご受講には該当分野での実務経験や相当する専門教育が必要です。
※環境の変化に応じて講義内容を変更することがあります。

＜参加者の声＞
・ゼロトラストの概念についてお伺いすることができた。
　講師の方が特定の製品ベンダーの方ではなかったため、フラットなご意見が聞けてうれしかった。
・セキュリティを担保するためのベースとなる考え方に関連付けるような形で、ZTAの思想や要素技術を網羅的に学習することができた。
・ゼロトラストの最新動向や基本的な思想について、詳細に解説いただけたので参考になった。